

平成 28 年度 事業報告書

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人...チョウタリィの会

1 事業の成果

「困難な状況にある子どもたち等に対する教育、保健等の支援事業」では、タイにおいて HIV に感染している家族を持つ子どもたちへの就学等の支援を行いました。子どもたちからは年に 2 回手紙と写真が送られ、健康状態や学校での成績、家庭の状況等の報告も届きました。現状においては未だに貧困に苦しんでいる家庭もあり、現状は厳しいものではありませんが、子どもたちに教育の機会を与えることは、子どもたちの将来において貧困の連鎖から脱することができるものと思います。

「途上国における教育環境の改善を図るための校舎建設等の協力事業」においては、ネパールで行っている公立学校新校舎建設支援のナバ・プラティバ学校、ナラヤンシタン学校、シャーミック・バルビギャン学校の 3 校の新校舎が完成しました。



ナバ・プラティバ学校の新校舎



ナラヤンシタン学校の新校舎

シャーミック・バルビギャン学校においては、同校の校舎建設支援活動を開始早々にネパール大地震が起これ、ネパール国が新たに制定した校舎建設の設計のガイドラインに沿うように設計を変更して行いました。

また当期において、ジャナ・カルヤン学校、カリ・デビ学校、ブダ・バグワン学校、マニケル学校、ラクシミ・ナラヤン学校の 5 校の新校舎の建設支援事業を開始しました。

同事業の成果としては、新校舎が完成した当該 3 校の教室不足の問題が解消し、これまで教室不足のために学校に通えなかった子どもたちが学校に通うことができるようになりました。

また、校内の環境が安全になり、天候に左右されることもなく雨天でも授業を行うことができるようになりました。

さらに、教師や生徒においては、教育や勉学に対する意欲が高まり、また地域の人々も女子を含めた教育の重要性をより深く認識してもらうことができたものと思います。

当法人が建設支援を行っている校舎は、全て耐震構造により建設しています。災害時には被災者のための避難所としての機能も兼ね備えており、2015 年の 4 月と 5 月に起きたネパールでの震災においても破損した校舎はなく、地域の避難所として新校舎が利用されました。支援学校地域の安全においても貢献できるものとなっています。



シャーミック・バルビギャン学校の新校舎

す。同支援活動においては、ネパール人の他国への出稼ぎ労働問題の解消につながるものとなるように活動を続けていきたいと考えています。

新校舎建設支援活動に伴って、「国内外の伝統文化等の紹介及び国際交流に関する事業」として2016年10月にジャナヒット学校、2017年1月にシャーミック・バルビギャン学校、ナバ・プラティバ学校、ナラヤンシタン学校の合計4校の新校舎の開校式に支援者と共に出席しました。



ジャナヒット学校での開校式



ナバ・プラティバ学校での開校式



ナラヤンシタン学校での開校式



シャーミック・バルビギャン学校での開校式

ネパール側も生徒、教師、地域の人々などが多数出席して日本とネパール両国の歌や踊りも交えて和やかに開校式が行われました。これらの活動の成果としては、当該4校の地域の人々に教育の重要性を認識してもらい、また民間レベルにおいての日本とネパールとの国際交流によって友好を大いに深め、双方において平和につながるための交流活動の重要性を感じることができたことです。

「途上国等における養護施設、助産施設、医療施設等の環境改善を図るための協力事業」では、インドネシアにおいて経済的に貧しい人々に対して無料で助産を行っている助産院ヤヤサン・ブミ・セハットへの支援を行いました。当法人では、任意団体時の2007年より同助産院に対し支援を行っています。同事業の成果としては、同助産院の運営が安定して行われ、バリ州における経済的に貧しい妊産婦が安心して出産できる体制が確保されたことです。さらに同助産院においては、ウブド地区に病院を建設し開院に至るまでの発展を遂げました。これらのことから当法人では、これまでの支援活動が大きく実を結び、同プロジェクトの目的が達成したものと判断しております。そのため、同助産院への支援の規模を支援活動開始当初と比べ大幅に縮小することができるようになりました。

また、同事業の一つであるインドネシアにおけるストリートチルドレン等の保護を行っている養護施設ヤヤサン・プルマタ・バリへの支援については、当法人では、同施設が開設した当時より支援活動を行ってまいりました。現在は、当時とは異なりインドネシアは見違えるほどの経済発展を遂げています。同施設で育った子どもたち

ちの多くが大人へと成長し、同施設の運営を支えることができる状況となりました。当法人においては、これらの状況から同プロジェクトの目的が達成されたものと判断しました。

「途上国等における自立を目指す人々への協力事業」では、ネパールでのカウンターパートの TEWA と協働で農村での女性の自立に向けた技術支援を行いました。その人たちが作ったクラフト製品は、カトマンズなどのフェアトレードの店でも販売されています。当法人では、当期においてもそれらの製品の紹介をイベントなどで行いました。

「機関紙、刊行物、講演、展示会、ウェブサイト、映像上映等による広報及び啓発事業」においては、当法人の機関紙「チョウタリィ通信」を作成し会員、支援者、一般の人々に配布しました。

多文化共生社会の重要性を地域の人々と共に考え啓発するために国際交流のツールとしての折り紙教室、手作りおもちゃ教室を行いました。折り紙で作られたコマ等をネパールでの新校舎開校式において子どもたちに配り、日本の文化を楽しく知ってもらうことができました。また、大阪市内で当法人の事業活動についての講演活動を行いました。



多文化共生のための折り紙教室の様子



奈良多文化共生音楽祭 2017
アラブ音楽（カヌーンの三重奏）

「国内外の伝統文化等の紹介及び国際交流に関する事業」において、前年に引き続き「奈良多文化共生音楽祭 2017」を2月に奈良市の学園前ホールにて開催致しました。当音楽祭では、世界の多様な音楽文化や他国の人々の暮らしを紹介することによって、それらの国々の人々の文化や生活について理解を深め、共に平和に生きることができる多文化共生社会の実現をめざすことを目的として開催しました。アラブ音楽2組、北インド宮廷音楽1組、西洋音楽1組の合計4組のプロの音楽グループが出演しました。

また同音楽祭では、当法人の海外での活動についてプロジェクトを用いて説明し、ロビーにおいても活動の写真等のパネル展示を行いました。

今回も多くの方々にご来場して頂きました。来場者へのアンケートの回答においても好評を得ることができました。同音楽祭を通して地域における多文化共生の重要性を感じて頂いたものと思います。

「関連団体及び関係する国際機関との相互協力」においては、当期においては、Hug²祭り 2016、NPO・ボランティアフェスタ・出会いウィーク 2017 などのイベントに参加しました。当法人の活動を来場者に知って頂くことができる活動となりました。

「社会教育及び政策提言事業」において、子どもたちが、国際社会に対応できる人材として健全に育成するため、幼児に英語を楽しく身につける英会話の教育を橿原市内の保育園で行いました。

「災害復興協力事業」における東日本大震災被災地の女性の仕事作り支援については、当法人が任意団体の時より着物等を被災地の女性グループに送り、クラフト製品作りの協力を行っています。当期においても、奈良市内にて同事業における女性の仕事作り支援のためのクラフト製品の素材となる着物等の寄附の呼びかけを行い、また、商品開発のためのデザインの構想、サンプル品の作成などを行いました。

同事業の成果においては、依然として生産力の向上等の課題はありますが、技術力の向上を感じることができました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支給額 (千円)
困難な状況にある子どもたち等に対する教育、保健等の支援事業	タイにおいて HIV に感染している家族を持つ子どもたちへの就学等の支援を行った。	通年	タイ バンコク ムクダハン県、 バンガー県	2名	HIV感染者を家族に持つ子どもたち10名	411
	インドネシアにおけるストリートチルドレン等の子どもたちへの就学等の支援のための会議を行った。	通年	インドネシア デンパサール市 カラニアセム県 奈良市	2名	養護施設等で保護されている子どもたち約25名	20
	インドネシアにおけるスラム地区のフリースクールに対する支援 当期は実施しない	実施せず				
	インドにおけるスラム地区3校のフリースクール支援のための会議を行った。	通年	インド コルカタ 奈良市	3名	フリースクールに通う子どもたち約30名	51
	ネパールにおける貧困世帯の子どもに対する就学等の支援を行った。	通年	ネパール カトマンズ カブレパランチョーク郡	5名	貧困世帯の子ども6名	238
途上国等における教育環境の改善を図るための校舎建設等の協力事業	ネパールにおいて老朽化し教室が不足している公立学校3校の新校舎が完成した。新たに5校の新校舎の建設支援を開始した。	通年	ネパール カブレパランチョーク郡	5名	校舎建設地域の子どもたち、住民、教師等 約6,000名	18,745
途上国等における養護施設、助産施設、医療施設等の環境改善を図るための協力事業	インドネシアにおいて経済的に貧しい人たちに対して無料で助産行為を行っている助産院への支援を行った。	通年	インドネシア ギャニャール県	3名	同助産院地域の住民等 不特定多数	100
	インドネシアにおけるストリートチルドレン等の保護を行っている養護施設への支援のための会議を行った。	通年	インドネシア デンパサール市 カラニアセム県 奈良市	3名	養護施設の子どもたち 約25名	23

途上国等における養護施設、助産施設、医療施設等の人材育成を図るための協力事業	インドネシアにおける助産師不足の解消を目的とした助産師養成のための支援 当期は実施しない	実施せず				
HIV及びAIDSの予防を目的とした啓発事業	タイにおいての現地NGOとの協働によるHIV及びAIDSの予防啓発活動 当期は実施しない	実施せず				
HIV及びAIDS感染者の人権を擁護するための事業	タイにおいて現地NGOとの協働によるHIV及びAIDS感染者人権擁護に関するセミナー等の開催。 当期は実施しない	実施せず				
途上国等における自立を目指す人々への協力事業	途上国における自立を目指す人々の製品の技術等の支援及び日本国内での製品の紹介を行った。	通年	ネパール 奈良市	6名	生産者及び授産施設で働く人々 約30名	242
国際協力及び海外事情の調査研究に関する事業	途上国等における、経済格差による貧困等の実態調査及び研究等。 当期は実施しない	実施せず				0
機関紙、刊行物、講演、展示会、ウェブサイト、映像上映等による広報及び啓発事業	事業活動についての講演を行った。	通年	大阪市 奈良市	3名	不特定多数	43
	機関紙「チョウタリイ通信」を作成した。	6月	奈良市	3名	不特定多数	37
	地域における多文化共生社会の推進啓発のための折り紙教室等を開催した。	4月 7月 11月 12月	奈良市	2名	参加者 60名	50
社会教育及び政策提言事業	国際社会に対応するための幼児に対する英会話教育を行った。	通年	橿原市	3名	幼児 約50名	745
関連団体及び関係する国際機関との相互協力	Hug ² 祭り、出会いウィークに出展した。	11月 2月	奈良市	5名	来場者 多数	47

災害復興協力事業	ネパール大地震被災者支援を行った。(物資支援、医療支援)	通年	ネパール カブレパランチョーク郡 奈良市	6名	被災者多数	122
	東日本大震災被災地の女性の仕事作り支援を行った。	通年	亘理郡 奈良市	3名	被災地の女性約10名	153
国内外の伝統文化等の紹介及び国際交流に関する事業	ネパールにおける公立学校4校の新校舎完成の開校式に出席した。 また、カトマンズの小規模の私立学校を訪問し交流した。	10月2月	ネパール カブレパランチョーク郡 カトマンズ	6名	校舎建設地域の子どもたち、住民、教師等 約4000名	1,721
	アラブ音楽等他国、他民族の音楽文化等の紹介を行うため「奈良多文化共生音楽祭2017」を開催した。	2月	奈良市	10名	来場者300名	676

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	支給額(千円)
イベント開催事業	今年度は実施しない。	実施せず			0
文化教育事業	今年度は実施しない。	実施せず			0

* 報告書の金額表示は、原則として単位未満の端数処理を四捨五入で表示しているため、表中の金額と内訳の合計が一致しない場合があります。